

導入から1ヶ月…

みんなにkintoneを毎日使ってもらうにはどうすればいいんだろう？

それなら“キラーアプリ”を作るのがオススメだよ！

ナルホド！
やってみよう！

効果を実感しやすいアプリ
・毎日の業務に使うアプリ
・使うと得するアプリ

これらがみんなにkintoneを毎日使ってもらうためのキラーアプリになるから、ぜひやってみて！

通称キラーアプリをみんなが使い始めてから1ヶ月後…

キラーアプリがなくてはいけなかった状況はなくなった。

その調子！

あの業務にもkintoneが使えるかな

便利だね！ kintone

効果ある！ kintone

kintoneがないと業務が回らない！

さあ、次のページからはじまるkintoneユーザーのセンパイのキラーアプリを見に行こう！

社内浸透のきっかけになる

キラーアプリ

を作ろう

kintoneを毎日みんなに使ってもらうために、必要なことは何か。

その一つの答えとなるのが、“キラーアプリ”の存在です。

キラーアプリできっかけをつくって、社内浸透に1歩近づきましょう。

Case 2

毎日の業務に使うアプリ

電話メモ

みんなが普段から行う日常業務をkintoneに!

シンプルだけど効果抜群!?

POINT

- 電話メモを一覧で確認できる
- 対応者が次にとるべき行動がすぐにわかる
- ログがきちんと残る

確認済	連絡があった日時	連絡先	受信者	依頼人	連絡内容	新しい電話番号
	2019-05-16 11:43 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	伝言をお願いします	0705553333
	2019-05-16 11:04 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	取り返してください	0707766676
	2019-05-13 11:30 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	取り返してください	09033376532
	2019-05-08 10:30 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	連絡があった目お伝えください	09033332222
	2019-04-25 10:30 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	連絡があった目お伝えください	09033332222
	2019-04-24 10:30 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	連絡があった目お伝えください	09033332222
	2019-04-22 9:18 AM	伊藤 幸子	伊藤 健太郎	伊藤 健太郎	取り返してください	09011112222

※画面キャプチャは利用イメージです



弁護士法人シーライト藤沢法律事務所 管理部
関 真保 センパイ

kintone導入後に一番最初に作り始めたのは電話メモアプリでした。なぜ電話メモかというと、電話がとても多い事務所だったので、**スタッフ全員がkintoneに慣れるのに役立つと思ったからです。記録を残して保存すれば相手に通知がいくような簡単なものですが、紙で行っていた時よりもはるかに効率的になり、今も現役で使われています。**

日報・報告書

毎日の報告にkintoneを使うことで、業務に欠かせないものに!

POINT

- 外出先からでもスピーディーに情報共有できる
- 報告のフォーマットが統一できる
- 質問や相談をコメント欄に集約できる

報告者	日時	曜日	顧客訪問先及び面会者
伊藤 幸子	2017-12-05 14:00	火	システム担当河野
大山 武次	2017-12-06 14:00	水	営業部長 山田様
加藤 美咲	2017-12-06 10:00	水	工事部長 鈴木様
伊藤 健太郎	2017-12-05 10:00	火	営業部長 山田様
伊藤 幸子	2017-12-04 13:30	月	システム部長 関

※画面キャプチャは利用イメージです



アイエクシード税理士法人
船山 拓也 センパイ

元々使っていたExcelの日報は、開くのに40秒前後、保存して閉じるのにも40秒前後かかっていましたが、kintoneにしたことでその時間が短縮されました。日報にアクセスするという煩わしさがなくなったおかげで、**今までよりもきめ細やかな正確な日報の情報として会議で提出できるようになったのは大きいですね。また、集計がしやすい点も評価しています。どの社員がどの顧客先にどれだけ時間をかけているかといった結果をグラフで確認できるのが助かっています。**

私のキラアプリはこちらです

Case 1

効果を実感しやすいアプリ

顧客・案件管理アプリ

経営層も興味を示す!?

グラフを作って見える化できると効果を実感しやすい!



元気でんき株式会社 代表取締役
河口 エレキテル センパイ

kintoneは会社経営の「コックピット」です。コックピットにいれば、正確な経営状況を把握できます。グラフの元となるアプリは売上管理、商品管理、社員管理、車両管理、コールセンター管理など多方面に及び、会社の今の状況が隅々まで可視化できるようになっています。**全員で同じ指標を見て次の行動に移していけるのは非常に便利です。**

よく利用するグラフや一覧は保存しておくのがおすすめ!

「一覧」とは?

アプリを開いて最初に表示される画面がレコード一覧です。アプリの初期設定では、すべてのレコードのすべてのフィールドが表示形式で表示されていますが、「一覧」を設定して、表示するレコードやフィールドを絞り込むことができます。一覧は複数設定できるので、アプリの利用者がよく使いそうな一覧は設定しておきましょう。

設定方法はP.22へ!

P.19で紹介!

「今月受注見込みの案件」や「自分が過去に登録したレコード」を素早く絞り定める!

アプリの一覧の保存方法

1 レコード一覧画面の右上の設定アイコン⚙の横の☑をクリックし、「一覧」をクリックします。

2 一覧を追加するボタン⊕をクリックします。

3 「一覧名」を入力後、一覧に並べたい項目を左側にドラッグ&ドロップします。必要に応じて、表示するレコードの条件を絞り込むこともできます。

4 画面左上の[保存]をクリックし、画面右上の[アプリを更新]をクリックします。

「一覧の項目は、見たいものに絞って配置すると便利!」

アプリのグラフの保存方法

● **アプリの管理者が設定する場合**
(保存した条件は、アプリのレコードの一覧画面で「グラフ」のドロップダウンリストに表示され、ほかのユーザーも利用できます。)

1 レコード一覧画面の右上にある設定アイコン⚙の横の☑をクリックし、「グラフ」をクリックします。

2 グラフを追加するボタン⊕をクリックします。

3 グラフ名を入力し、「集計の方法」の各項目を設定し、画面左上の[保存]をクリックします。

4 画面左上の[保存]をクリックして、画面右上の[アプリを更新]をクリックします。

● **アプリの利用者が設定する場合はブックマーク機能を使おう!**
ブックマーク機能を使えば、集計条件をブックマークとして保存できます! (保存した条件は、ほかのユーザーとは共有されません。)

1 保存したいグラフの画面にて、画面左上の「★」をクリック。次に右上⊕をクリックします。

2 分かりやすい名前をつけて、OKをクリックします。

次回からはブックマーク画面から素早く確認できるようになります!

Case 3

社員が得するアプリ

観戦チケット申請

ユニークな方法を用いつつ、徐々に利用用途を増やす!

株式会社ダイワは「リーグ」サガン鳥栖のスポンサーになっており、観戦チケットを福利厚生の一環として社員に配付していた。そのチケットの申請アプリをKintoneで作成したのだ。また、年に2回慰労会の補助金を出しているが、その申請もKintoneで受け付けることにした。こういった、社員が得するアプリを立て続けにリリースし、Kintoneを触ってもらう機会を少しずつ増やしていった。

そして、2014年に大きな動きがあった。「我々が展示会を開いたときに、来客予定名簿をKintoneアプリで作成し、各社員が招待したお客様をアプリに登録するようにしました。集客状況のグラフをKintoneのトップページに表示し、弊社の代表に共有しました。集客が芳しくない営業所は一目瞭然に。リアルタイムですらね。そういった営業所に会長が機を飛ばすので、Kintoneを使わせるようになった。状況になり、みんながKintoneを触るようになった。営業部門からは恨みを買いましただけ(笑)」

「リーグの観戦チケットの申請アプリをKintoneで作成」



株式会社ダイワ 総務部人財開発課 主任 高田直哉 センパイ

番外編

人類kintoneマスター化計画

キラーアプリの効果を実感し始めた後に待っている世界とは

「アプリを使うよりも、アプリを作るほうがKintoneの価値を感じやすい」

武富センパイのいう「人類Kintoneマスター化計画」とは、アプリを作成できる人を社内でどんどん増やしていく計画のことである。

まず、自分に近い社員に「エクセルやメールを使っているものを「Kintone」してみたらどう?」など「Kintoneを勧めたそう」だ。

最初は半信半疑で「それ、本当に便利になるのか?」という反応だったが、自分たちの業務の「Kintoneアプリにする」という便利さと感じ、「じゃあ次これも」「次これも」と自分たちで業務を効率化していった。こういった、すくなくサイクルが、自分の近辺で回り始めた。当時のことを語る。

もっこのサイクルを全社に広めたい、と思った武富センパイは、社内勉強会を実施した。業務効率化しませんか? 「現状の業務フローに不満ありませんか?」といった参加募集のメールを送ったところ、さまざまな職種、職種の社員が業務終了後にKintoneのアプリの作成方法を学びに来たという。

それまでは「使にくい」「直してほしい」の抽象的な意見しか出てこなかったのが、「このフィールドのほうが利用者は使いやすいんじゃない?」「通知ほしいから、この通知設定してくれない?」「こういうふうに使いたいから、この項目増やしてほしい」と、具体的な改善案を社員が提案してくれるようになり、結果的に、社員全体の業務改善に対する意識も格段に上がった。

記事提供: ログミー株式会社



株式会社 神戸デジタル・ラボ 武富 佳菜 センパイ